

そう だい きょういく
総 題 「教育」

だい か きょういく
第8課 教育とあがない

さな だ おさむ
眞田 治

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

せいしよ よ かみ わ せいしよ よ かみ めぐ わ わたし せい
聖書を読むと、神さまのことが分かります。そして、聖書を読むと、神さまの恵みが分かります。私たちは聖
しよ まな めぐ し
書を学ぶと、恵みについて知ることができるのです。

わたし かね はら めぐ か わたし めぐ て い
私たちはお金を払って恵みを買うことはできません。私たちは、がんばって恵みを手に入れることもできませ
にんげん なに かみ めぐ かみ ひと めぐ あた おも
ん。人間が何もしなくても、神さまは恵みをくださるのです。神さまは、どんな人にでも恵みを与えたいと思っ
ておられます。

きょう きょういく めぐ かなら おし きょう きんようび いっしゅうかん
キリスト教の教育では、恵みについて必ず教える必要があります。今日から金曜日までの1週間は、キ
きょう まな ひと いちばんたいせつ めぐ まな
リスト教を学ぶ人にとって一番大切な、恵みについて学びます。

に にちようび かみ
2. 日曜日：「神にかたどって」

きゅうやくせいしよ そうせい き いっしようにじゅうろく にじゅうななせつ よ かみ い われわれ われわれ
旧約聖書の創世記1章26、27節を読んでみましょう。「神は言われた。『我々にかたどり、我々
に ひと つく うみ さかな そら とり かちく ち けもの ち は しはい かみ ご
に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。』神は御
じぶん ひと そうぞう かみ そうぞう おとこ おんな そうぞう
自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。」

そうせい き いっしようにじゅうななせつ にんげん かみ そうぞう か ことば
創世記1章27節には、人間は神にかたどって創造されたと書いてあります。「かたどる」という言葉は、
おな つく い み かみ にんげん かみ おな つく かみ にんげん
同じように造るという意味です。神さまは、人間を神さまと同じように造ってくださいました。神さまは、人間
かみ に つく おな かみ にんげん
を神さまに似たように造られました。では、どういうふうに同じなのでしょう。神さまと人間は、どこが似てい
るのでしょうか。

かみ にんげん あい に かみ あい おな にんげん あい
神さまと人間は、愛することが似ているのです。神さまが愛するのと同じように人間も愛することができます。
かみ にんげん つく かみ にんげん しはい おさ い
神さまが人間を造られたとき、神さまは人間に「すべてを支配させよう」とか「治めさせよう」とか言われま
した。

しはい おさ ことば もともと め はだし はたけ ふ い み
「支配」とか「治める」とかいう言葉は、元々は、「クツを脱いで裸足になって、畑を踏みしめる」という意味
なのだそうです。もう畑に種をまいても良い時期か、まだ種をまくのには早すぎるのかを、クツを脱いだ自分の両
はたけ たね よ じき たね はや め じぶん りょう
足で土を踏んで確かめるのです。畑の土が温かく、やわらかければ、もう種をまいても良い時期ですが、まだ冷
あし つち ふ たし はたけ つち あたた たね よ じき つめ
たかたり固かったりすれば、まだ種をまくのには早すぎます。畑を大切に、土を大切に、畑にまく種を
かた たね はや はたけ たいせつ つち たいせつ はたけ たね
大切に、種が成長して実る作物を大切にすることが、「クツを脱いで裸足になって畑を踏みしめる」こと

によって示されます。聖書が教えている「支配」とか「治める」とかは、「大切にする」という意味です。そして、「大切にする」ことは「愛する」ことです。神さまと人間は、愛することが似ているのです。神さまが愛するのと同じように人間も愛することができます。

神さまは、人間が神さまを愛するために人間を造られました。神さまは、人間が周囲の人々を愛するために人間を造られました。神さまが造られた世界を人間が愛するために、神さまは人間を造られました。神さまが愛されるのと同じように、私たちが人間も愛することができます。人間の愛は、今でも神さまの愛に似ています。

しかし、もっと似るようにしてくださるために、神さまは私たち人間を教育して下さいます。神さまは、たくさんの方のことを私たちに教えて下さいます。神さまが私たちに教えて下さるので、私たちは愛することができます。神さまは、どんな人にも恵みを与えたいと思っておられます。私たちは、恵みによって愛することができるのです。

3. 月曜日：先生としてのイエス

ヨハネ福音書 3 章 1～3 節を読んでください。

「さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。ある夜、イエスのもとに来て言った。『ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行いうことはできないからです。』イエスは答えて言われた。『はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。』」

ヨハネ福音書 3 章 10 節に、ニコデモは教師だったと書いてあります。ニコデモはファリサイ派で、議員で、教師でした。ニコデモは主イエスさまのことを「教師」と呼んでいます。主イエスさまはニコデモに教えました。

「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない」と、主イエスさまはニコデモに教えたのです。人は、神さまの恵みを信じることによって新しく生まれ変わることができます。神さまは、どんな人にも恵みを与えたいと思っておられます。どんな人でも、神さまの恵みによって生まれ変わらなければ、神の国に入ることができません。主イエスさまは、神さまの恵みによって生まれ変わって神の国に入りたいと、ニコデモに教えられたのです。

主イエスさまは教師でした。主イエスさまは、教師であるニコデモに教える教師でした。主イエスさまは、先生に教える先生でした。

では、皆さんに質問します。

あなたが子どもの頃から今までに出会った「先生」や「教師」の中で、あなたがいちばん尊敬している人は、どの先生ですか？ 小学校の頃の先生を、あなたは尊敬していますか？ 中学校や高等学校の先生を、あなたは尊敬していますか？ 教会で出会った先生を、あなたは尊敬していますか？ あなたがいちばん尊敬している先生は、どんなことをあなたに教えて下さいましたか？

4. 火曜日：モーセと預言者たち

テモテ第二の手紙 3 章 1 6 節を読んでください。今週の暗唱聖句ですね。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。」(新共同訳聖書)

「聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。」(口語訳聖書)

テモテが『テモテ第二の手紙』を書いた頃は、弟子たちが新約聖書を書いている途中で、まだ新約聖書は完成していませんでした。テモテ第二の手紙 3 章 1 6 節に書いてある「聖書」というのは、旧約聖書のことで、旧約聖書は、人を教えたり、人を戒めたり、人を正しくしたり、人を救うために役に立つのです。

旧約聖書の最初の5つの本、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記は、「律法」と呼ばれます。十戒だけが律法ではなく、旧約聖書の最初の5つの本が「律法」です。旧約聖書のイザヤ書やエレミヤ書などは、「預言者の書」と呼ばれます。そして、旧約聖書の詩篇や箴言などは、「諸書」と呼ばれます。律法にも、預言者の書にも、諸書にも、人を教えたり、戒めたり、正しくしたり、救うために役に立つことが書いてあります。

旧約聖書も新約聖書も、神さまの恵みによって人間に与えられた神さまからの御言葉です。神さまは、どんな人にも恵みを与えたいと思っておられます。どんな人でも聖書を読んで、どんな人でも恵みによって救われることを、神さまは願っておられるのです。旧約聖書も新約聖書も、恵みによって人を救うための、神さまからの手紙です。

5. 水曜日：賢い男女

今日のタイトルは「賢い男女」ですね。男性でも女性でも、弱い人でも強い人でも、どんな人でも差別なく神さまから知恵をいただくことができます。神さまは、どんな人にも恵みを与えたいと思っておられます。知恵は、恵みによって知ることです。「賢い男女」というのは、恵みによって知る知恵をいただいた男性や女性のことです。

列王記(上) 5 章 9 節を読んでください。「神はソロモンに非常に豊かな知恵と洞察力と海辺の砂浜のような広い心をお授けになった」。

神さまはソロモンに、たくさんの知恵を与えられました。神さまは、たくさんのことを知っておられ、神さまは、たくさんのことを恵みによって私たちが人間に教えてくださるのです。

旧約聖書の箴言には、知恵についてたくさん書いてあります。箴言 1 章 7 節には「主を畏れることは知恵の初め。無知な者は知恵をも論しをも侮る」と書いてあり、箴言 9 章 10 節には、「主を畏れることは知恵の初め。聖なる方を知ることは分別の初め」と書いてあります。「主を畏れる」というのは、主なる神さまが本当の支配者であるのを知ることです。では、「支配」というのは、どういう意味でしたか。日曜日に学びましたね。聖書に書いてある支配というのは、大切にするとか愛するとかいう意味です。主なる神さまが私たちが人間を大切に、愛してくださると知ることが、「主を畏れる」ことです。主なる神さまが私たちが人間を大切に、愛してくださ

し
ると知ることが、いちばん じゅうよう ち え 重 要 な知恵なのです。

ろく もくようび しやだいきょうかい きょういく 6. 木曜日：初代 教会における 教育

しゅ で し いっしょ す き かん さんねんはん さんねんはん ちゅうがっこう こうとうがっこう
主イエスさまが弟子たちと一緒に過ごされた期間は3年半でした。3年半というのは、中 学校や高等学校
や大学で学ぶぐらいの期間です。中 学校や高等学校や大学で学ぶぐらいの期間、主イエスさまは弟子たちと
いっしょ す
一緒に過ごされました。

ふくいんしよじゅうようしようにじゅうごせつ よ
ヨハネ福音書 1 4 章 2 5 節を読んでください。主イエスさまが話された御言葉です。「わたしは、あなた
がたといたときに、これらのことを話した」と書いてあります。主イエスさまは弟子たちと一緒に過ごされた3年
はん はん はん か しゅ で し いっしょ す さんねん
半、たくさんのことを話されたのです。しかし、次の 2 6 節には、「しかし、弁護士、すなわち、父がわたしの
な つか せいれい おし はな べん ごしや ちち
名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こ
させてくださる」と書いてあります。主イエスさまが十字架にかかって亡くなり、復活し、天に帰られた後で、主
イエスさまは天から 私 たちに聖霊を送ってくださるようになりました。聖霊は、私 たちにすべてのことを教え
てくださいます。聖霊は、主イエスさまが話されたことを私 たちに思い起こさせてくださいます。弟子たちは3
ねんはん しゅ いっしょ す わたし しゅ いっしょ す
年半、主イエスさまと一緒に過ごしましたが、私 たちは主イエスさまと一緒に過ごしたことはありません。しか
し主イエスさまが天から聖霊を送ってくださるので、主イエスさまが話されたことを私 たちも思い起こすことが
できます。主イエスさまが天から聖霊を送ってくださるので、私 たちはすべてのことを教えていただけます。

だいいち てがみにしよじゅういちせつ かみ れいいがい かみ し もの か かみ
コリント第一の手紙2章 1 1 節には、「神の霊以外に神のことを知る者はいません」と書いてあります。神
さまから送られる聖霊は、神さまのことを知っておられます。私 たちは聖霊によって神さまのことを教えていた
だけます。私 たちは聖霊によって主イエスさまのことを教えていただけます。神さまは、どんな人にも恵みを
あた おも おも かみ ひと めぐ せいれい おく しゅ おし
与えたいと思っておられます。神さまはどんな人にも恵みによって聖霊を送り、主イエスさまのことを教えよ
うとしておられます。どんな人でも、主イエスさまを知ることができるのです。

なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

しゅ おし だいせんきょうめいれい ふくいんしよにじゅうはちしよじゅうはち にじゅうせつ
主イエスさまの教えに、「大宣 教 命 令」というのがあります。マタイ福音書 2 8 章 1 8 ～2 0 節です。
「イエスは、近寄って来て言われた。『わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行っ
て、すべての民をわたしの弟子にしろ。彼らに父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、あなたがたに命
じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる』」。

しゅ たみ で し い せいしよ ことば よ
主イエスさまは、「すべての民をキリストの弟子にしろ」と言われます。弟子というのは、聖書の言葉を読
んで、聖書の言葉を実行する人です。すべての人々が聖書の言葉を読んで実行するようにしなさいと、主イエス
さまは言っておられるのです。すべての人々が聖書の言葉を読んで実行できるようになる理由は、主イエスさまが
てん ち いっさい けんのう さず しゅ けんのう ひとびと で し
天と地の一切の権能を授かっているからです。主イエスさまに権能があるから、すべての人々がキリストの弟子
になることができます。権能というのは、日曜日で学んだ「支配」と似た意味です。他の人々を大切にする 力、
た ひとびと あい ちから けんのう しゅ た ひとびと たいせつ た ひとびと あい ちから も
他の人々を愛する 力が権能です。主イエスさまは、他の人々を大切に、他の人々を愛する 力 を持っておら

れます。だから、主イエスさまの^{しゅ}権能^{けんのう}によって、すべての人^{ひと}がキリストの^{でし}弟子になることができます。

人間^{にんげん}の力^{ちから}とは関係なく、神さまの^{かんけい}力^{かみ}や主イエスさまの^{ちから}権能^{しゅ}によって与えられることを、恵み^{めぐ}といいます。

神さまは、どんな人^{ひと}にでも恵み^{めぐ}を与えたいと思っておられます。恵み^{めぐ}によって、すべての人^{ひと}がキリストの^{でし}弟子にな

ることができます。主イエスさまは本物の^{ほんもの}先生^{せんせい}です。主イエスさまは本物の^{しゅ}教師^{きょうし}です。そして、すべての人^{ひと}が主

イエス・キリストの^{せいと}生徒^{せいと}になることができます。あなたもキリストの^{せいと}生徒^{せいと}です。あなたも、恵み^{めぐ}によってキリストの

^{でし}弟子^{でし}なのです。